

2026 年 8 月 19 日
セイコーエプソン株式会社

松本市美術館の企画展「Sustainable World」に技術協力 - エプソンの映像・プリンティング技術を活用し、新たな鑑賞体験を創出 -

セイコーエプソン株式会社（以下、エプソン）は、松本市美術館およびテレビ信州が主催する企画展「Sustainable World ― 佐藤大史・磯部昭子 ふたりの視点から ―」に技術協力します。

本展は、自然環境や日常の営みを見つめ直し、持続可能な未来について考えるきっかけを提供する企画展です。2026 年 9 月 19 日から 12 月 6 日まで松本市美術館で開催され、松本市にゆかりのある写真家の佐藤大史氏とフォトグラファーの磯部昭子氏が、それぞれの視点から捉えた作品を紹介します。

エプソンは、これまで培ってきたプロジェクション技術やプリンティング技術を活用し、アーティストが創造する世界観を表現するとともに、来館者に新しい鑑賞体験を提供します。



<エプソンでの打ち合わせの様子>

●展示空間を技術で支援

本展においてエプソンは、液晶プロジェクターや映像演出機材の活用による没入感のある空間演出を支援するとともに、デジタル捺染機によるプリント制作や、作家の意図を反映した画像調整などを通じて、作品表現の実現に協力します。

佐藤大史氏の展示では、アラスカの自然や風景をテーマとした映像作品を大空間で展開し、来館者が作品世界の中に入り込んだような体験を提供します。

また、磯部昭子氏の展示では、人物や日常をモチーフとした作品コンセプトに合わせた空間表現を行い、アートとテクノロジーが融合した新たな鑑賞体験の創出に貢献します。

●地域とともに新たな価値を創出

エプソンは、松本市との包括連携協定のもと、松本市美術館と連携し、展示や文化活動における技術活用の可能性を探る取り組みを進めてきました。引き続き、技術の力で文化・芸術の新たな表現や体験価値の創出を支援し、地域社会との共創を通じて地域文化の発展に貢献していきます。

●展覧会概要

展覧会名：「Sustainable World — 佐藤大史・磯部昭子 ふたりの視点から —」

会期：2026年9月19日（土）～12月6日（日）

会場：松本市美術館（<https://matsumoto-artmuse.jp/>）

主催：松本市美術館、テレビ信州

技術協力：セイコーエプソン株式会社

Sustainable World

■会期／2026年9月19日[土]～12月6日[日] ■会場／企画展示室

— 佐藤大史・磯部昭子 ふたりの視点から —



©Daishi Sato



©AKIKO ISOBE

写真家・佐藤大史(1985年-)は、アラスカの大自然をありのままの姿で伝えるため、現地での撮影にこだわり続けます。フォトグラファー・磯部昭子(1977年-)は、人物や日常を被写体としながら、独自の感性でその奥底に眠る価値観を提示してくれます。写真という同じメディアを選びながらも、異なるアプローチで対象と向き合う視線の先にあるのは、変わりゆく現在とその価値観、そして、未来への警鐘と希望。本展では、幅広い表現領域で世界をけん引するセイコーエプソンとの共創によって、ふたりの視点が超高解像度で現れます。

以上